

整理番号	21	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	知的障害者通所更生施設		
所属名	福祉部希望・虹・みんな・えがおの家	電話番号	3680-1531

事業の目的・概要・対象者等	《事業の目的及び概要》	《事業の開始年度》	昭和62年度
	知的障害者福祉法に基づき知的障害を持つ人々に対して、日常生活活動や社会活動を行なうことによって、社会生活能力の開発及び日常生活の充実を図ります。		
	[各施設の定員 292名] ・希望の家(江戸川5丁目) 34名      ・虹の家(西篠崎2丁目) 90名 ・みんなの家(本一色3丁目) 90名      ・えがおの家(東葛西5丁目) 78名		
対象者	279人	【施設支給決定を受けた知的障害者 平成17年4月1日現在】 14年度246人、15年度265人、16年度261人 ほぼ増加傾向にあり、今後減少に転ずる見込みはない	

活動指標	活動指標	活動日数	活動指標	利用者数(4月1日現在)
	17年度	967日 (16年度) 942日 4施設の活動日数の合計	17年度	279人 (16年度) 261人 4施設の利用者数

成果・目標指標	成果・目標指標	利用者出席率	成果・目標指標	20年度目標
	17年度	85.4%	17年度	90%
利用者延べ出席数を出席予定日数で除した数。社会生活能力の開発や日常生活の充実のためにも出席率の向上が望まれます。				

経費の概要	17年度事業実施経費	1,373,050千円	経費の説明
	利用者1人あたり年間 1施設1日あたり	約492万円 約142万円です	
	【人件費と担当職員数】	838,858千円	16度より事業経費増の主な要因は、全体の利用者増加に伴う人件費増(利用者3名に対し職員1人が基準です。)、虹の家の新館設置(リース)と通所バスの委託開始及び施設改修工事費に係る経費です。 [各施設の経費] 人件費を除く ・希望の家17,216千円 ・虹の家131,291千円 ・みんなの家312,931千円 (人件費200,067千円を含む) ・えがおの家72,754千円
<参考> 平成16年度事業実施経費 1,298,895千円 みんなの家の人件費は、指定管理者による運営のため、指定管理料に含めてあります。			

その他	《実施の根拠となる法令等》	知的障害者福祉法(平成18年4月以降は障害者自立支援法、並びに知的障害者福祉法)
	《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》	みんなの家を指定管理者として(社)東京都知的障害者育成会が運営代行(平成16年4月から)
	《その他》	・18年度から障害者自立支援法が施行され、施設利用に対する支援費は日割り計算となり、出席率によって、運営費にも影響がでできます。(国1/2・区1/2を負担) ・利用者は原則、施設利用費の1割負担及び給食費を実費負担となります。 ・定員を超えた利用者の受け入れや、多機能型施設など新体系への移行など課題は多くあります。

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	21	事業名	知的障害者通所更生施設
		所属名	福祉部希望・虹・みんな・えがおの家

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。		4				
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5					
4	成果が上がっている。	5					
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。	5					
6	受益者負担の額は適切である。		4				*法の基準に基づく
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。	5					
8	民間事業者への委託等の可能性がある。	5					
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。	5					
10	経費を削減できる可能性がある。		4				

所管部長の意見等

区立の知的障害者援護施設の利用者には重度の障害者が多く、平均年齢も高まっており、施設の重要度は高い。  
 18年4月の障害者自立支援法の施行にともない、区立施設の再編を進めるとともに、運営について一層の充実・効率化を図るため、指定管理者制度の活用を進めるべきである。

# 平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

<b>整理番号</b>	21	<b>事業名</b>	知的障害者通所更生施設
-------------	----	------------	-------------

<b>所属名</b>	福祉部希望・虹・みんな・えがおの家
------------	-------------------

## 外部評価委員評価

そう思う ↔ そう思わない

	評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
	<b>【必要性】</b>							
1	公費を投じて実施するべき事業である。		5					
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。			4				
	<b>【有効性】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。			4				
4	成果が上がっている。			4				
	<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数等は適切である。			4				
6	受益者負担の額は適切である。				3			*法の基準に基づく
	<b>【民間活力の活用】</b> 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。			4				
8	民間事業者への委託等の可能性がある。			4				
	<b>【効率性】</b>							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。			4				
10	経費を削減できる可能性がある。				3			

## 外部評価委員の意見

更生施設の充実は利用者にとって必要であるので、今後も継続して欲しい。  
 受益者負担は減減できないか。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。